

参考資料 5 施設調査（アンケート調査）の概要

1. 調査対象施設

調査対象とする施設は以下の①～⑥に該当する施設です。

① 危険物タンク

- 第4類危険物を貯蔵する屋外タンク貯蔵所で、容量500kl以上のもの（特定タンク及び準特定タンク）
- 毒性危険物（表1に該当）を貯蔵する全ての屋外タンク貯蔵所

② ガスタンク

- 可燃性ガスを貯蔵するガスタンク（高圧ガス保安法に係る貯槽、電気事業法及びガス事業法に係る貯槽またはガスホルダー）
- 毒性ガス（表1に該当）を貯蔵する全てのガスタンク

③ 毒性液体タンク

- 危険物、高圧ガスのいずれにも該当しない毒性液体（表1に該当）を貯蔵したすべてのタンク（プラント内の貯槽、小容量の容器等は除く）

表1 毒性物質

石油コンビナート等災害防止法で指定された毒物・劇物	毒物	四アルキル鉛、シアン化水素、フッ化水素
	劇物	アクリロニトリル、アクロレイン、アセトンシアンヒドリン、液体アンモニア、エチレンクロルヒドリン、塩素、クロルスルホン酸、硅フッ化水素酸、臭素、発煙硝酸、発煙硫酸
その他の毒性物質		硫化水素、硫黄、ホスゲン

④ プラント

- 全ての危険物製造所
- 全ての高圧ガス製造施設
- 発電設備（自家発用の発電設備は除く）

⑤ タンカー棧橋

- 石油類の入出荷用タンカー棧橋
- LPG入出荷用タンカー棧橋
- LNG入出荷用タンカー棧橋

⑥ パイプライン

下記のうち、事業所間を結ぶ導配管、またはタンカー棧橋に接続する入出荷用

配管

○危険物の移送取扱所

○可燃性ガス導管

2.調査期間

調査期間は次のとおりです。

平成 26 年 7 月 31 日～平成 26 年 9 月 16 日

3.調査対象事業所

調査対象事業所は次のとおりです。

J X 日鉱日石エネルギー（株） 仙台製油所

全農エネルギー(株)仙台石油基地

東北電力（株） 新仙台火力発電所

東邦アセチレン（株） 多賀城工場

(株)仙台サンソセンター

仙台市ガス局港工場

EMG マーケティング合同会社塩釜油槽所

カメイ物流サービス(株)

出光興産(株)塩釜油槽所

昭和シェル石油(株)塩釜油槽所

東西オイルターミナル(株)塩釜油槽所

富士興産（株） 塩釜油槽所

3.データ作成要領

(1)危険物タンク

ア.地図上の識別番号

地図に記入した識別番号(1,2,3,・・・の通番)

イ.固有の施設記号

事業所で固有の施設記号(例えば T-001 など)があれば記入してください。

現在休止中または建設中の施設についてもデータを記入し、施設記号の横に「休止」または「建設」と記入してください(建設中の施設については可能な範囲でご記入ください)。

ウ.貯蔵物質(物質名、類別、内容物の実液比重、毒物・劇物)

貯蔵物質の名称と消防法上の類別(例：第4類・第1石油類)を記入してください。名称は略称を避け、一般名を用いてください。

また、表1の毒性物質について、下記の該当する番号を記入してください。

- 毒物・劇物に該当しない : 1
- 毒物・劇物に該当する : 2

表1 毒性物質

石油コン ピナート 等災害防 止法で指 定された 毒物・劇物	毒物	四アルキル鉛、シアン化水素、フッ化水素
	劇物	アクリロニトリル、アクロレイン、アセトン シアンヒドリン、液体アンモニア、エチレン クロルヒドリン、塩素、クロルスルホン酸、 硅フッ化水素酸、臭素、発煙硝酸、発煙硫酸
その他の毒性物質		硫化水素、硫黄、ホスゲン

エ.形式

タンクの形式について該当する番号を記入してください。

- 固定屋根式 : 1
- 浮き屋根式 : 2
- 内部浮き屋根式 : 3

オ.規模(容量、直径、高さ、重量、最高液面高さ)

①容量、直径、高さ、重量

許可申請時の貯蔵最大数量[kl]、タンク直径[m]、タンク高さ[m]、タンク重量 [ton]を記入してください。

カ.液面(自主管理油高の上限値、自主管理油高の下限値)

①自主管理油高の上限値

自主管理油高の上限値[m]を記入してください（地震による液面揺動の評価に用います）。

②自主管理油高の下限値

自主管理油高の下限値[m]を記入してください（津波による浮き上り、移動の評価に用います）。

キ.仕切堤・防油堤(仕切堤有無、仕切堤高さ、仕切堤面積、防油堤高さ、防油堤面積、地盤の液状化対策の有無等)

仕切堤の有無、仕切堤高さ、仕切堤面積、仕切堤における地盤の液状化対策の有無、防油堤高さ、防油堤面積、防油堤における地盤の液状化対策の有無、防油堤の漏洩防止措置の実施状況について、該当する番号または数値を記入してください。

①仕切堤有無 ○仕切堤あり : 1

 ○仕切堤なし : 2

②仕切堤高さ、仕切堤面積、防油堤高さ及び防油堤面積

仕切堤（ある場合）及び防油堤のタンク部分も含めた面積[m²]を記入してください。

複数のタンクが1つの防油堤で囲まれている場合には、それぞれのタンクについて同じ防油堤面積(タンク部分も含めた全体の面積)を記入してください。

③仕切堤、防油堤における地盤の液状化対策の有無

 ○対策あり : 1

 ○対策なし : 2

③防油堤の漏洩防止措置の実施状況

次の中から該当する番号を記入してください。

○漏洩防止措置済 : 1

○漏洩防止措置未 : 2

○該当なし(目地等なし) : 3

注)防油堤の漏洩防止措置とは、平成10年3月20日付け消防危32号「防油堤の漏洩防止措置等について」による目地等の強化措置を指します。

ク.接続配管(最大配管の呼び径、フランジボルト数)

タンクに接続されている配管で、直径が最大のものの呼び径(A)[mm]とフランジボルト数(タンク直近のフランジ1箇所について)を記入してください。フランジボルト数が不明の場合は、フランジ規格（JIS5k、JIS10k、JPIクラス150等）をご記入下さい。

ケ.ドレイン配管

ドレイン配管（タンクで最大のもの）の呼び径[mm]をご記入下さい。

コ. タンクの設置許可年月日

タンクの設置許可年月日を記入してください。

サ.技術基準

「危険物の規制に関する政令」に定める技術上の基準について、次の中から該当する番号を記入してください。

- 新法 : 1
- 旧法・新規準 : 2
- 旧法・旧基準 : 3
- 準特定・新基準 : 4
- 準特定・旧基準 : 5
- 特定外 : 6

注)新法：昭和 52 年の技術基準(現行基準)に適合する特定タンク

旧法・新基準：平成 6 年の新基準に適合する旧法タンク(第 1 段階基準を含む)

旧法・旧基準：平成 6 年の旧法新基準に適合しないか適合調査中の旧法タンク

準特定・新基準：平成 11 年の新基準に適合する準特定タンク

準特定・旧基準：平成 11 年の新基準に適合しない準特定タンク

特定外：容量 500kl 未満の屋外タンク貯蔵所

シ.遮断設備(設備有無、駆動源、停電時操作性)

遠隔による開閉操作が可能な受払弁または緊急遮断弁の有無、駆動源、停電時(送電及び非常用を除く自家発電設備のいずれも停止したとき、以下同様)の操作性について、次の中から該当する番号を記入してください。

- ①設備有無
 - 設備あり : 1
 - 設備なし : 2
- ②駆動源
 - 電力 : 1
 - 空気 : 2
 - その他 : 3
- ③停電時操作性
 - 自動閉止(電力喪失時に自動閉止するもの) : 1
 - 操作可能 : 2
 - 操作可能(手動操作により) : 3
 - 操作不能 : 4

ス.固定泡消火設備(設備有無、停電時操作性)

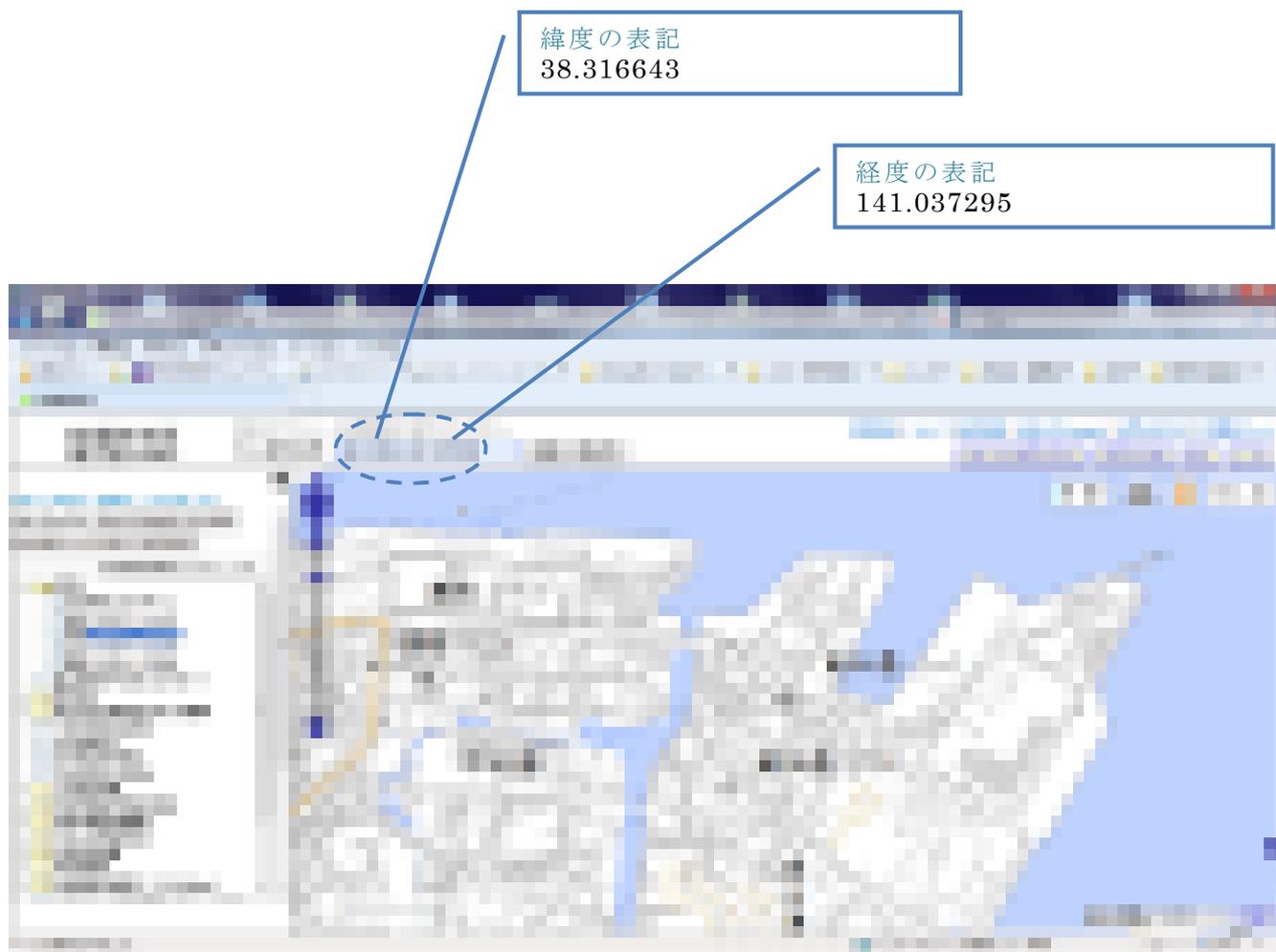
設備有無、停電時操作性について、次の中から該当する番号を記入してください。

- ①設備有無
 - 設備あり : 1
 - 設備無し : 2
- ②停電時操作性
 - 操作可能 : 1
 - 操作可能(手動操作により) : 2
 - 操作不能 : 3

※ データの記入数値については、地図閲覧サービス（国土地理院）を参照し、入手願います。

(<http://watchizu.gsi.go.jp/>)

緯度経度情報の入力数値



(2)ガスタンク

ア.地図上の識別番号

地図に記入した識別番号(1,2,3,……の通番)

イ.固有の施設記号

事業所で固有の施設記号(例えば T-001 など)があれば記入してください。

現在休止中または建設中の施設についてもデータを記入し、施設記号の横に「休止」または「建設」と記入してください(建設中の施設については可能な範囲でご記入ください)。

ウ.貯蔵物質(物質名、種別、内容物の実液比重)

貯蔵物質の名称を記入してください。名称は略称を避け、**一般名**を用いてください。また、貯蔵ガスの種別(適用法規に基づく)について、次の中から該当する番号を記入してください。

- 可燃性 : 1
- 毒性 : 2
- 可燃性・毒性 : 3

エ.形 式

タンクの形式について、次の中から該当する番号を記入してください。

- 球形タンク : 1
- 円筒横置タンク(枕型含む) : 2
- LNG 地上タンク : 3
- LNG 地下タンク : 4
- その他平底タンク : 5

オ.規 模

タンクの規模について、形式ごとに次の内容を記入してください。

- 球形タンク : 貯蔵量[t]、直径[m]、重量 [ton]
- 円筒平底タンク : 貯蔵量[t]、直径[m]、高さ[m]、重量 [ton]
- 円筒横置タンク : 貯蔵量[t]、重量 [ton]

カ.防液堤

防液堤を設置している場合は、防液堤の高さ[m]、防液堤面積(タンク部分も含めた面積) [m²]、防液堤における地盤の液状化対策の有無を記入してください。面積については複数のタンクが1つの防液堤で囲まれている場合には、それぞれのタンクについて同じ値(防液堤全体の面積)を記入してください。

キ.貯蔵状態(温度、圧力、状態)

貯蔵温度[°C]、貯蔵圧力[ゲージ圧 : MPa]を記入してください。貯蔵圧力は、常用の圧力

(圧力が変動する場合はその変動範囲のうちの最高の圧力) とします。

また、状態については以下の該当する番号を記入してください。

○液 体 : 1

○気 体 : 2

ク. 接続配管(最大配管の呼び径、フランジボルト数)

タンクに接続されている配管で、直径が最大のものの呼び径(A)[mm]とフランジボルト数(タンク直近のフランジ1箇所について)を記入してください。

フランジボルト数が不明の場合は、フランジ規格 (JIS5k、JIS10k、JPI クラス 150 等) をご記入下さい。また、溶接配管の場合は「溶接」とご記入下さい。

ケ. タンクの設置許可年月日

タンクの設置許可年月日を記入してください。

コ. 遮断設備(設備有無、駆動源、停電時操作性)

遠隔により開閉操作が可能な受払弁または緊急遮断弁の有無、駆動源、停電時操作性について、次の中から該当する番号を記入してください。

①設備有無 ○設備あり : 1

○設備なし : 2

②駆動源 ○電 力 : 1

○空 気 : 2

○その他 : 3

③停電時操作性 ○自動閉止 (電力喪失時に自動閉止するもの) : 1

○操作可能 : 2

○操作可能(手動操作により) : 3

○操作不能 : 4

サ. 移送設備(設備有無、停電時操作性)

緊急時に内容物を他のタンクに移送するための設備の有無、停電時操作性について、次の中から該当する番号を記入してください。

①設備有無 ○設備あり : 1

○設備なし : 2

②停電時操作性 ○操作可能 : 1

○操作可能(手動操作により) : 2

○操作不能 : 3

シ. 除害設備(設備有無、設備種類、停電時操作性)

内容物が毒性ガス又は可燃性・毒性ガスの場合、漏洩時に毒性を除害(または拡散を防止)

するための設備の有無、種類、停電時操作性について、次の中から該当する番号を記入してください。

- | | | |
|---------|-------------------------------------|-----|
| ①設備有無 | <input type="radio"/> 設備あり | : 1 |
| | <input type="radio"/> 設備なし | : 2 |
| ②設備種類 | <input type="radio"/> 吸引除害 | : 1 |
| | <input type="radio"/> 散水希釈 | : 2 |
| | <input type="radio"/> その他 | : 3 |
| ③停電時操作性 | <input type="radio"/> 操作可能 | : 1 |
| | <input type="radio"/> 操作可能(手動操作により) | : 2 |
| | <input type="radio"/> 操作不能 | : 3 |

ス.設置場所

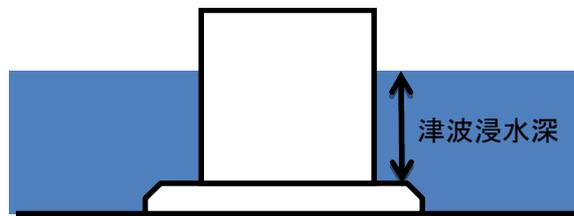
内容物が毒性ガス又は可燃性・毒性ガスの場合、設置場所について次の中から該当する番号を記入してください。

- 屋 外 : 1
- 屋 内 : 2

セ 東日本大震災におけるタンク設置位置での津波浸水深

東日本大震災におけるタンク設置位置での最大の津波浸水深[m]について記入してください。

「津波浸水深」とは、津波の浸水時における表面からタンク底板までの深さ（下図参照）です。



図：津波浸水深の定義

ソ タンクの設置位置の緯度・経度

タンクの設置位置の緯度・経度のデータを記入ください。

緯度・経度データは、タンクの中心位置で、小数表記、小数点第6位までを記入ください

※ データの記入数値については、地図閲覧サービス（国土地理院）を参照し、入手願います。

(<http://watchizu.gsi.go.jp/>)

(3)毒性液体タンク

ア.地図上の識別番号

地図に記入した識別番号(1,2,3,……の通番)

イ.固有の施設記号

事業所で固有の施設記号(例えば T-001 など)があれば記入してください。

現在休止中または建設中の施設についてもデータを記入し、施設記号の横に「休止」または「建設」と記入してください(建設中の施設については可能な範囲でご記入ください)。

ウ.貯蔵物質(物質名、内容物の実液比重)

貯蔵物質の名称を記入してください。名称は略称を避け、一般名を用いてください。

エ.形 式

タンクの形式について、次の中から該当する番号を記入してください。

- 円筒平底タンク : 1
- 円筒横置タンク (枕型含む) : 2
- その他 : 3

オ.規 模(容量、最大液面高さ)

タンクの容量[kl]と最大液面高さ[m]を記入してください。

カ.防液堤

防液堤の高さ[m]、防液堤の面積(タンク部分を含めた面積) [m²]、地盤の液状化対策の有無を記入してください。面積については複数のタンクが1つの防液堤で囲まれている場合には、それぞれのタンクについて同じ面積値(防液堤全体の面積)を記入してください。

キ.貯蔵状態(温度、圧力、水溶液濃)

貯蔵温度[°C]、貯蔵圧力[ゲージ圧:MPa]を記入してください。水溶液として貯蔵している場合には濃度[重量%]も記入してください。

ク.接続配管(最大配管の呼び径、フランジボルト数)

タンクに接続されている配管で、直径が最大のものの呼び径(A)[mm]とフランジボルト数(タンク直近のフランジ1箇所について)を記入してください。

フランジボルト数が不明の場合は、フランジ規格(JIS5k、JIS10k、JPIクラス150等)をご記入下さい。また、溶接配管の場合は「溶接」とご記入下さい。

ケ.タンクの設置許可年月日

タンクの設置許可年月日を記入してください。

コ.遮断設備(設備有無、駆動源、停電時操作性)

東日本大震災におけるタンク設置位置での最大の津波浸水深[m]について記入してください。

ソ タンクの設置位置の緯度・経度

タンクの設置位置の緯度・経度のデータを記入ください。

緯度・経度データは、タンクの中心位置で、小数表記、小数点第 6 位までを記入ください

※ データの記入数値については、地図閲覧サービス（国土地理院）を参照し、入手願います。

(<http://watchizu.gsi.go.jp/>)

(4)プラント

ア.地図上の識別番号

地図に記入した識別番号(1,2,3,……の通番)

イ.固有の施設記号

事業所で固有の施設記号(例えば T-001 など)があれば記入してください。

現在休止中または建設中の施設についてもデータを記入し、施設記号の横に「休止」または「建設」と記入してください(建設中の施設については可能な範囲でご記入ください)。

ウ.施設・装置名

プラントの名称を記入してください(例：常圧蒸留装置、水添脱硫装置、発電設備)。

エ.施設区分

施設の区分について該当する番号を記入してください。

- 危険物製造所 : 1
- 高圧ガス製造設備 : 2
- 発電設備 : 3

オ.設置許可年月日

設置許可年月日を記入してください。

カ.取扱危険物

代表的な危険物の塔槽類(取扱危険物の滞留量が最大のユニット)について、以下の内容を記入してください。ユニットのバウンダリは、緊急時に遮断弁などによりブロック化できる範囲と定義します(以下同様)。

①物質名

②類別(消防法上の類別(例：第4類・第1石油類)、内容物の実液比重)

③最大滞留量：代表的な塔槽類の滞留量[kl]

④処理温度：代表的な塔槽類の処理温度[℃]

⑤処理圧力：代表的な塔槽類の処理圧力[ゲージ圧：MPa]

※処理温度や処理圧力に幅がある場合は、常用の最大値としてください(以下同様)。

⑥接続配管(最大配管の呼び径、フランジボルト数)

：ユニットに接続する配管で直径が最大のものの呼び径(A)[mm]とフランジボルト数(ユニット直近のフランジ1箇所について)を記入してください。

※フランジボルト数が不明の場合は、フランジ規格(JIS5k、JIS10k、JPIクラス150等)をご記入下さい。また、溶接配管の場合は「溶接」とご記入下さい(以下同様)。

⑦取扱状態 : 液体:1 気体:2

キ.取扱可燃性ガス

代表的な可燃性ガスの塔槽類（取扱可燃性ガスの滞留量が最大のユニット）について、以下の内容を記入してください。

①物質名、**内容物の実液比重**

②最大滞留量：代表的な塔槽類の滞留量[t]

③処理温度：代表的な塔槽類の処理温度[℃]

④処理圧力：代表的な塔槽類の処理圧力[ゲージ圧：MPa]

⑤接続配管(最大配管の呼び径、フランジボルト数)

：ユニットに接続する配管で直径が最大のものの呼び径(A)[mm]とフランジボルト数(ユニット直近のフランジ1箇所について)を記入してください。

⑥取扱状態：液体:1 気体:2

ク.取扱毒性危険物

代表的な毒性危険物の塔槽類（取扱危険物の滞留量が最大のユニット）について、以下の内容を記入してください。

①物質名

②類別（消防法上の類別(例：第4類・第1石油類)、**内容物の実液比重**)

③最大滞留量：代表的な塔槽類の滞留量[kl]

④処理温度：代表的な塔槽類の処理温度[℃]

⑤処理圧力：代表的な塔槽類の処理圧力[ゲージ圧：MPa]

※処理温度や処理圧力に幅がある場合は、常用の最大値としてください（以下同様）。

⑥接続配管(最大配管の呼び径、フランジボルト数)

：ユニットに接続する配管で直径が最大のものの呼び径(A)[mm]とフランジボルト数(ユニット直近のフランジ1箇所について)を記入してください。

※フランジボルト数が不明の場合は、フランジ規格（JIS5k、JIS10k、JPI クラス 150等）をご記入下さい。また、溶接配管の場合は「溶接」とご記入下さい（以下同様）。

⑦取扱状態：液体:1 気体:2

ケ.取扱毒性ガス

代表的な毒性ガスの塔槽類（取扱毒性ガスの滞留量が最大のユニット）について、以下の内容を記入してください。

①物質名、**内容物の実液比重**

②最大滞留量：代表的な塔槽類の滞留量[t]

③処理温度：代表的な塔槽類の処理温度[℃]

④処理圧力：代表的な塔槽類の処理圧力[ゲージ圧：MPa]

⑤接続配管(最大配管の呼び径、フランジボルト数)

：ユニットに接続する配管で直径が最大のものの呼び径(A)[mm]とフラン

ジボルト数(ユニット直近のフランジ1箇所について)を記入してください。

- ⑥取扱状態 : 液体:1 気体:2
⑦可燃性 : 可燃:1 不燃:2

コ.遮断設備(設備有無、駆動源、停電時操作性)

遠隔による開閉操作が可能な受払弁または緊急遮断弁の有無、駆動源、停電時(送電及び非常用を除く自家発電設備のいずれも停止したとき、以下同様)の操作性について、次の中から該当する番号を記入してください。

- ①設備有無 ○設備あり : 1
 ○設備なし : 2
②駆動源 ○電 力 : 1
 ○空 気 : 2
 ○その他 : 3
③停電時操作性 ○自動閉止 (電力喪失時に自動閉止するもの) : 1
 ○操作可能 : 2
 ○操作可能(手動操作により) : 3
 ○操作不能 : 4

サ.固定泡消火設備(設備有無、停電時操作性)

設備有無、停電時操作性について、次の中から該当する番号を記入してください。

- ①設備有無 ○設備あり : 1
 ○設備なし : 2
②停電時操作性 ○操作可能 : 1
 ○操作可能(手動操作により): 2
 ○操作不能 : 3

シ.移送設備(設備有無、停電時操作性)

緊急時に内容物を他のタンクに移送するための設備の有無、停電時操作性について、次の中から該当する番号を記入してください。

- ①設備有無 ○設備あり : 1
 ○設備なし : 2
②停電時操作性 ○操作可能 : 1
 ○操作可能(手動操作により): 2
 ○操作不能 : 3

ス.除害設備(設備有無、設備種類、停電時操作性)

内容物が毒性の場合、漏洩時に毒性を除害(または拡散を防止)するための設備の有無、種類、停電時操作性について、次の中から該当する番号を記入してください。

(5)タンカー棧橋

ア.地図上の識別番号

地図に記入した識別番号(1,2,3,……の通番)

イ.施設区分

施設の区分について該当する番号を記入してください。

- 入荷施設 : 1
- 出荷施設 : 2
- 入出荷施設 : 3

ウ.取扱物質

取扱物質について該当する番号を記入してください。また、内容物の実液比重を記入してください。

石油の場合には、物質名と類別も記入してください。その他可燃性ガス・毒性ガスの場合は物質名を記入してください。

- 石油 (物質名・類別) : 1
- LPG : 2
- LNG : 3
- その他可燃性・毒性ガス : 4

また、貯蔵物質の種別 (適用法規に基づく) について、次の中から該当する番号を記入してください。

- 可燃性 : 1
- 毒性 : 2
- 可燃性・毒性 : 3

エ.年間の利用状況 (平均入出荷回数、平均入出荷時間)

年間の入出荷回数 (最近 1 年間の実績) と 1 回あたりの入出荷に要する平均時間を記入してください。

オ.移送配管 (最大配管の呼び径、フランジボルト数、敷設場所)

受入・払出配管で最大直径の配管の呼び径(A)[mm]とフランジボルト数(フランジ 1 箇所について)、配管の敷設場所を記入してください。敷設場所は、次の中から該当する番号を記入してください。

- 地上 : 1
- 地中／海底 : 2

カ.移送ポンプ (送出圧力、配管内の流量)

移送ポンプの送出圧力 [ゲージ圧 : MPa] と配管内の流量 [m³/h] を記入してください。

船側のポンプの場合も最大の送出圧力と流量を記入してください。

キ.遮断設備（設備有無、操作方法、駆動源、停電時操作性）

遠隔により開閉操作が可能な受払弁または緊急遮断弁の有無、操作方法、駆動源、停電時操作性について、次の中から該当する番号を記入してください。

- ①設備有無 ○設備あり : 1
 ○設備なし : 2
- ②操作方法 ○制御室で遠隔操作 : 1
 ○棧橋付近で遠隔操作 : 2
 ○その他 : 3
- ③駆動源 ○電 力 : 1
 ○空 気 : 2
 ○その他 : 3
- ④停電時操作性 ○自動閉止（電力喪失時に自動閉止するもの） : 1
 ○操作可能 : 2
 ○操作可能(手動操作により) : 3
 ○操作不能 : 4

ク.消火設備（設備有無、停電時操作性）

泡消火設備などの消火設備の有無と、停電時操作性について、次の中から該当する番号を記入してください。

- ①設備有無 ○設備あり : 1
 ○設備なし : 2
- ②停電時操作性 ○操作可能 : 1
 ○操作可能(手動操作により) : 2
 ○操作不能 : 3

ケ.水幕設備（設備有無、停電時操作性）

水幕設備（ウォーターカーテン）の有無と、停電時操作性について、次の中から該当する番号を記入してください。

- ①設備有無 ○設備あり : 1
 ○設備なし : 2
- ②停電時操作性 ○操作可能 : 1
 ○操作可能(手動操作により) : 2
 ○操作不能 : 3

コ.オイルフェンス

タンカー着棧時のオイルフェンスの展張について、次の中から該当する番号を記入してください。

- 入出荷時には常に展張 : 1

○漏洩発生時に展張 : 2

(6)パイプライン

ア.地図上の識別番号

地図に記入した識別番号(1,2,3,……の通番)

イ.施設区分

施設の区分について該当する番号を記入してください。

- 危険物配管 : 1
- 高圧ガス導管 : 2
- その他 : 3

ウ.敷設場所

次の中から該当する番号を記入してください。

- 地上 : 1
- 地下 : 2

エ.配管仕様（総延長、呼び径、フランジボルト数）

導配管の総延長 [m]、呼び径(A) [mm] (管径が最大となる箇所について) を記入してください。また、フランジ部がある場合は、フランジボルト数の代表値（最頻値）を記入してください。

オ.取扱条件

導配管の取扱条件について以下の内容を記入してください。値に幅がある場合は、常用の最大値としてください。

- ①取扱物質名（類別）：危険物の場合には類別も記入してください。
- ②流量 [m³/h]
- ③移送圧力 [ゲージ圧：MPa]
- ④取扱温度[°C]
- ⑤取扱状態：液体:1 気体:2

※ 圧力や温度に幅がある場合は、常用の最大値としてください。

カ.遮断設備（設備有無、操作方法、駆動源、停電時操作性）

遠隔により開閉操作が可能な受払弁または緊急遮断弁の有無、操作方法、駆動源、停電時操作性について、次の中から該当する番号を記入してください。

- ①設備有無
 - 設備あり : 1
 - 設備なし : 2
- ②操作方法
 - 制御室で遠隔操作 : 1
 - 栈橋付近で遠隔操作 : 2
 - その他 : 3

- ③ 駆動源
- 電 力 : 1
 - 空 気 : 2
 - その他 : 3
- ④ 停電時操作性
- 自動閉止（電力喪失時に自動閉止するもの） : 1
 - 操作可能 : 2
 - 操作可能(手動操作により) : 3
 - 操作不能 : 4

キ.液状化対策

液状化対策の実施状況について、次の中から該当する番号を記入してください。

- 液状化対策実施済み : 1
- 液状化対策未実施 : 2
- 非液状化地盤 : 3
- 調査中 : 4